

**平成30年度財務諸表に対する注記**  
平成31年3月31日現在

1. 重要な会計方針

- (1) 棚卸図書及び貯蔵品の評価基準および評価方法  
先入先出法による原価法を採用している。
- (2) 引当金の計上基準  
退職給付引当金は、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額およびその残高

特定資産の増減額およびその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	2,488,458	616,000	0	3,104,458
40周年記念事業引当資産	1,500,000	300,000	1,800,000	0
木材保存学入門改訂4版引当資産	1,000,000	500,000	1,500,000	0
IRG52日本大会開催引当資産	4,000,000	3,000,000	0	7,000,000
合 計	8,988,458	4,416,000	3,300,000	10,104,458

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正 味財産から の充当額)	(うち一般正 味財産から の充当額)	(うち負債に対 応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	3,104,458	-	0	[3,104,458]
IRG52日本大会開催引当資産	7,000,000	-	[7,000,000]	
40周年記念事業引当資産	0	-	0	0
木材保存学入門改訂4版引当資産	0	-	0	0
合 計	10,104,458	-	[7,000,000]	[3,104,458]

4. 固定資産の取得価格、減価償却累計額および当期末残高

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累 計額	当期末残高
什器備品(レジストグラフ)	1,438,500	1,438,499	1
合 計	1,438,500	1,438,499	1